

2021年 1月15日 (金)

3年生「とじこめた空気や水」

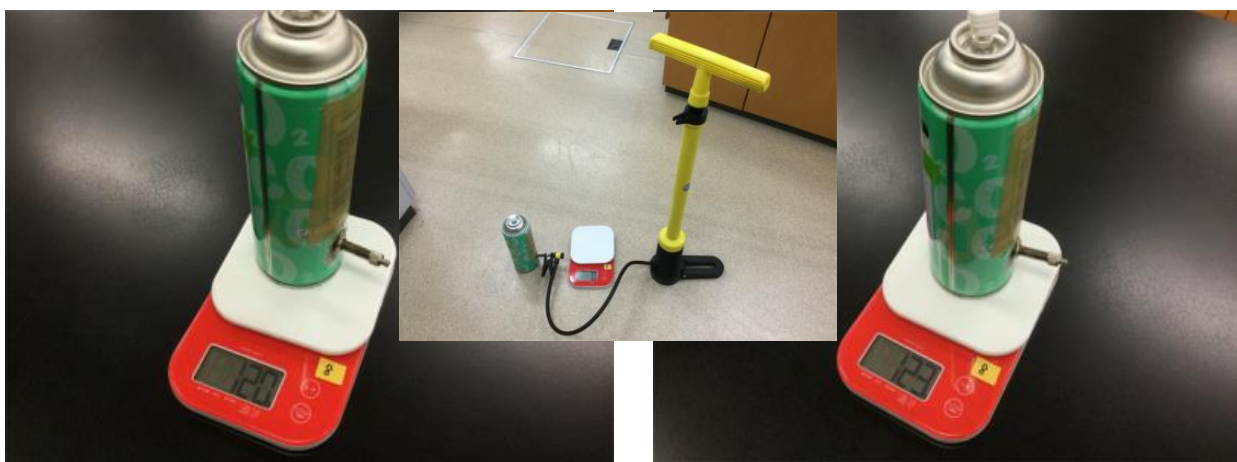
理科の「とじこめた空気と水」という学習は、本来4年生の内容ですが、本校ではカリキュラムを調整している関係から3年生で学習しています。この単元では、閉じ込めた空気と水の性質の違いを実験から学びます。昨日の3Aと本日の3Bの授業では、導入として「空気は物である？」という内容を行いました。

空気は透明で見えなく物体として認識しにくい特徴があるため、空気は物であるということを明らかにすることが目的です。以下の実験を行いました。

- ①ポリエチレンの袋に空気を閉じ込め、物であることを視覚と触覚で感じる。
- ②水の中で空気を出してみる。



- ③ガスボンベに自転車用のポンプで空気を注入し、重さが増えたか調べる。



児童の反応として特に③の実験結果が印象的であったようです。空気にも重さがあることが実験からわかり、物としての認識ができたと思います。

